

【新木津用水路】



施工前



施工中



完成

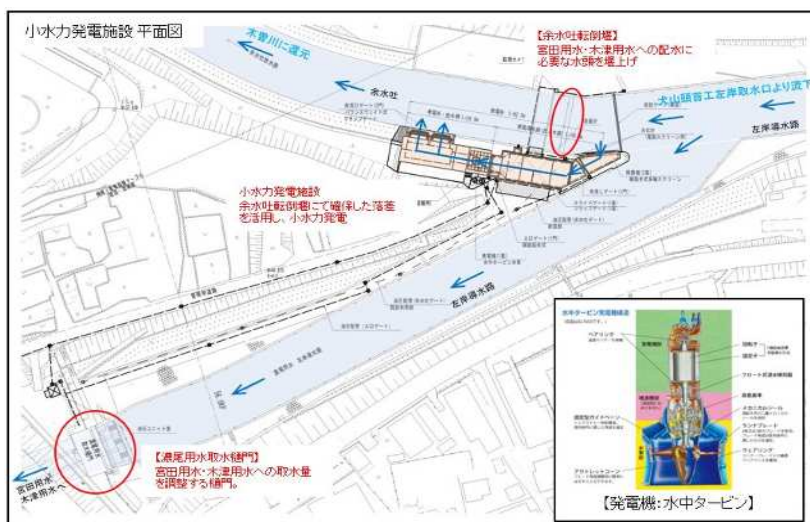
【小水力発電施設】



施工前



施工中



計画平面図

【営農状況】



水稻の収穫
(名古屋市)



小麦の収穫
(大口町)



さといも
(江南市)



きく
(あま市)



守口大根
(扶桑町)



ねぎ
(扶桑町)

【環境配慮対策】



魚類等調査(モニタリング調査)
R3年実施時点



犬山頭首工
新設右岸魚道



大江排水路
(魚溜り工)

【宮田導水路 上部利用】



上部利用状況
(遊歩道)



上部利用状況
(蘇南公園横)

【羽島用水路 上部利用】



改修前



改修後

【大江排水路 景観に配慮した整備状況】



改修前



改修後

複合経営／水稲、野菜／栽培技術の確立・向上

水稲・野菜の環境保全型農業の推進と地域の担い手育成に貢献 ～熊澤 宣明氏（愛知県一宮市）～

経営体の概要

平成24年

基幹作物：水稲、だいこん、かんしょ、
ねぎ、さといも

経営面積：36.9ha（うち水稲の部分受託20ha）

令和3年

基幹作物：水稲、だいこん、かんしょ、スイート
トコーン、さといも、アスパラガス

経営面積：25.4ha（うち水稲の部分受託4.5ha）

取組の経緯と経営転換のポイント等

昭和49年に経営者として就農した。平成10～18年に農業用水路の支線がパイプライン化され、田植え作業が円滑化し営農条件が向上した。農薬・化学肥料を低減して水稲や野菜を生産する環境保全型農業を実践し、主要全品目でエコファーマー認定を取得している。ＪＡ愛知西の組合長等を歴任し地域のリーダーとして、また「はつらつ農業塾」等の活動を通して、地域の担い手の育成・確保に取り組んでいる。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

一宮市の事業を活用して一般家庭やスーパーの食品残渣等から作る堆肥の投入、有機質肥料の施用、マルチ栽培技術の導入等により、野菜栽培における農薬・化学肥料の低減を率先して実践しつつ、部会内で栽培技術を公開しエコファーマー認定の取得を推進している。また、レンゲと有機質肥料のみを利用する特別栽培米を生産しており、ＪＡ愛知西のブランド商品「特別栽培米」として販売されている。



熊澤 宣明氏



研修の様子

②担い手の育成・確保

地域農業の維持と発展のために若手専業農家を増やす必要があると考え、「一宮市農業塾」とその後継の「はつらつ農業塾」の発足と運営に多大に尽力している。特に「はつらつ農業塾」の発足においては、ＪＡと市の話し合いを円滑化し、予算確保や活動内容の充実、活動規模の拡大に貢献した。農業塾の研修生を毎年2名ほど受け入れ、新たな担い手候補を育成している。また、新規就農希望者の相談を受け、農地の斡旋や農業機械の貸し出しなど、積極的に支援をしている。さらに、愛知水田農業経営者協会の会長、一宮農業士会会長、ＪＡ愛知西だいこん部会営農部会長等を歴任し、地域農業の牽引役として活躍することで、地域の担い手の育成・確保に取り組んでいる。

事業概要

事業種：国営総合農地防災事業

関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び
愛知県名古屋市外12市5町

受益面積：10,139ha

事業期間：平成10年～令和9年

事業目的：農業用排水施設の機能回復

主要工事：頭首工改修1箇所 用水路改修 L=32.4km
排水路改修 L=27.3km

位置図



<問い合わせ先>

東海農政局
農村振興部農地整備課
課長補佐（競争力強化事業推進）・営農指導係
電話：052-223-4638

（令和3年度調査時点）

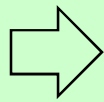
農地集積・集約を推進し、スマート農業技術を活用する農業法人 ～（有）明治トラクター（愛知県稲沢市）～

経営体の概要

平成23年

基幹作物：水稲（主食用米）

経営面積：170ha



令和3年

基幹作物：水稲（主食用米、飼料用米）、小麦

経営面積：200ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

昭和42年に設立し、水田の全面作業を受託している。国営事業により用水が安定供給されるほか、農業用水路の支線がパイプライン化されたことで生活用水の流入等が防止され水質が改善し、安定した生産が維持されている。主食用米から飼料用米や麦への転換による作期分散、不耕起V溝直播栽培やスマート農業技術の導入、広範囲に散在していた狭小農地の集積・集約化により省力化を図っている。また、飼料用米の出荷先から購入した鶏糞を水田に肥料として施用することで畜産農家と連携し、資源の循環に取り組んでいる。

営農改善のポイント

①土地利用調整

J Aや農地中間管理機構を通して土地利用調整を円滑に進め、利用権設定を行っている。かつてはそれぞれの耕作農地が小さく、稲沢市とあま市の2市に加え西春日井郡まで広範囲に散在しており、多大な時間と労力を要していたが、地主や担い手と話し合い、耕作権の移転等により、全ての耕作農地を2市にまとめた。さらに、2市の中でも分散していた耕作農地の一部をひと固まりにし、集約した面積を平成23年度の約50haから約120haに増加させた。



明治トラクターの皆さん

②省力化

主食用米から飼料用米への転作を推進し、主食用米の刈り取りを飼料用米より優先することで、主食用米の品質を落とすことなく、作業を平準化させている。

愛知県が不耕起V溝直播栽培技術を普及し始めた当初に、その技術を導入した。冬にV溝直播ほ場の準備を行い、育苗～田植え時期の労働時間を削減し約3割の省力化を実現している。

スマート農業技術を活用し、ドローンによる殺菌剤や除草剤等の効果的な散布や、農作業記録の自動化を実現している。また、スマホ画面でほ場位置や作業進捗を確認できることから、約1000筆もの耕作農地を効率的に管理している。



V溝直播機による播種作業

事業概要

事業種：国営総合農地防災事業

関係市町：岐阜県岐阜市外2市2町及び
愛知県名古屋市外12市5町

受益面積：10,139ha

事業期間：平成10年～令和9年

事業目的：農業用排水施設の機能回復

主要工事：頭首工改修1箇所 用水路改修 L=32.4km
排水路改修 L=27.3km

位置図



<問い合わせ先>

東海農政局

農村振興部農地整備課
課長補佐(競争力強化事業推進)・営農指導係
電話：052-223-4638

(令和3年度調査時点)

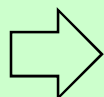
地域の合意に基づき中心的担い手として農地保全に努める農業法人 ～（株）ＪＡ名古屋ファーム（愛知県名古屋市）～

経営体の概要

平成24年

基幹作物：水稻

経営面積：296ha(受託面積)



令和3年

基幹作物：水稻、もち菜、スイートコーン

経営面積：291ha（うち受託面積：112ha）

取組の経緯と経営転換のポイント等

名古屋市南陽町は国営事業等の実施で用水が安定供給されるほか、支線水路のパイプライン化により生活排水の流入が減少し水質の改善が図られ、安定した農業生産が維持されている。同地域では、ほ場整備事業が昭和40年代に実施され、その土地改良区単位での共同作業や大型機械の共同利用が進められたが、農家の兼業化が進んだため南陽町全域のほ場を集団化し、水稻基幹作業を南陽町農作業受託部会（ＪＡなごやのＪＡ直営型受託作業部門と農作業受託組織）が一括して担うようになった。その後、「ＪＡが地域農業を維持してほしい」との地域の期待に応えるべく、平成28年にＪＡ直営型受託作業部門から法人化した（株）ＪＡ名古屋ファームが地域の中心的担い手となり、地域の農地保全や安定した農産物の生産などに取り組んでいる。

営農改善のポイント

①土地利用調整

農地中間管理事業制度の発足を契機に、市・農業委員会・ＪＡ・地元土地改良区が協力し地元の合意形成を行い、地域農地の約６割が（株）ＪＡ名古屋ファームに集積されている。今後も利用権設定を推し進め、地域農地の保全に取り組んでいきたいと考えている。



水稻の収穫

②省力化

南陽町のほ場を集団化し、大型機械を活用して地区全体的水稻基幹作業を担うことで、効率的な作業を実施している。レーザーレベラーで田んぼを均平にした後、不耕起Ｖ溝直播栽培技術を用いて、農薬使用の半減、コスト削減及び作業の平準化を図っている。



レーザーレベラー

事業概要

事業種：国営総合農地防災事業

関係市町：岐阜県岐阜市外２市２町及び
愛知県名古屋市外12市5町

受益面積：10,139ha

事業期間：平成10年～令和9年

事業目的：農業用排水施設の機能回復

主要工事：頭首工改修 1箇所 用水路改修 L=32.4km
排水路改修 L=27.3km

位置図



<問い合わせ先>

東海農政局

農村振興部農地整備課

課長補佐(競争力強化事業推進)・営農指導係

電話：052-223-4638

(令和3年度調査時点)